ストツクホル

國のオブザーバー紅手

彈

本二歳酸を受けてより二周年にあたり、マツカー

【東京電話】昭和十七年四月十八日酸の非道なる

パウル所在墨原の密隔によりその飛石作威を完動さ でるな視点い、間よりマツカーサ

響へざるを得ない

から間時この三方国からの侵攻が可能性あるものと が本土に對する奇妙は大陸から北方から而して採件

れ、ニミツツまた。家語でも割らずその太平洋作職は

ル大なる消耗な**開製され**、

見て我が本土機関の印管性は増大しつつあると歌せ の速度を冷凝に回称すれば、第一級と不上との距離 テンのビルマ侵攻作成と共にこのニア年間の版局 ゲーの 北上作戦、ニミツツの四戦、マウント

は逐次短縮せられたのみならず、航空機の特性から

職機による酸の動能は輕視を許さず数次に亘って中

部太平洋に出撃した駆機動派院の前間からぶても我

短海セパストポリが陰落して以来 九四二年七月一日無海最大の変塞

ストツグホルム十六日同盟

回文践する赤軍を十三キロの一級に引づけにし、更に南方から

題、ドイツ悪質局がは十六日次の

トラツクおよびトラクター五幡八姓、自動小師一千二百六十姓

る意識いよい て戦車に据る

側四八一高地の敗級魔滅職を勢物

すなはら九日以米わがコヒマ西

教物時に必ず各戸で継へませる。」

**耐傷、皮膚病一切に用ひて卓效** 

切場に けどに

楽備

に測退却を開始した り砲を陣地と重楽したまく西北方 附近の威砲兵陣地は十三日米明よ

中部を爆撃

軍を十三千口の郷

殿の侵路として、
及本主憲職に失戦をつけた空母艦

を楽したのである。更に一方において北方における 文那大陽より我が太二年の歌を組ひ在支米空間の境強

セバス

ŀ

ポ

リル

住宅地域を爆撃した

血作戦か

出祭ぬだらう り深の海軍、海兵隊、沿岸警備隊 ン※局=米國は原省は十五日開版 【リスポン士五日同盟】ワシント

米海軍損害小出し を行った 取 死 の 死 (字) 合 (成)

プール公司リ米線路機一隊はエユ 【リスポン十六日同盟】イスタン 米不時清機に黑人

し、三名の滅人を含む搭乗負八名日トルコ領トラチャ地方に不停給

「リスポン十六日同盟」米大統領 マツクは辭退せず

共和窓の存力候補ウイルキーはウー 選携設は早くも削削取に入ったが

し逆両が順に債務化するに至った 平洋に司会旨マツカーサー**増き出** 縮を取消して共和額内には四階太 イスコンシン州の登場で敗退立候

とも默認してあるのに対し、マと類とがにかられるのを少く せてあるといはれるが、ネプラッカーサーは自然の成行者に委 和購大會において大統領候初に ーとの間に響面を往復したこと

第六日巻1日間報の新畑 (印度場のの小は、小連道は (印度場のの小は、小連道は

方空石場合

應急手当備、

際と相次で肉運攻陸に堪定りかね

ジョトンマ(コヒマ西方三キロ)

40

家

ち一箇所も判合す制盛した。赤てゐたが、ドイツ里は激散のと 劉敬事砲その他百世門、追않砲七百二十七名、四隊砲世八門、 際提品確保は極めて困難、加心 **心の地の山** 

取締領化のためイタリア辿にろう 六日同盟 手まめに消しませう 電灯につ 7

陳地を催保した、この奇遇に渡渡、突霧を逃行、激闘政時間ののち同

務備。

〇二五 〇五〇 一〇〇

本語 國際觀測株式會計

依するジョトソマの飯種医療に對

土頭個體でならびに治臓を多数を

後継によって室間レつつあった

しわが結戯部隊は十二日夜最後の

【リスボン十六日同盟】ロンドン 手もとに せう 球に難へま

> 選手と京人四北方に海を取して 環内にある友重な見扱しにし他を

こげませう

つけませう

力と管む個是戦地の過渡に合き戦

一方四六一高地の短陽五百餘は

電球をきれ 必ず笠を1 れいに拭き 選した

夏金で数字して比較異の大部分は が追儺地を唯一のけるに郷園巡流 には機械の運命を待つ逆に撃十名

五百五十九機 敵機、ラパウルを連襲

### 初銳に動搖 を織けてゐるのみである

## 國南

河を興行修河、 他かんとする三百の際を攻略して 中蔵を演じてこれを臨途するとと観するとには三万はわが側背を ファイヤー 1機・F川温販機公送 報道班員十八日 ン西北方四キヒ とフチドン北 シノピン(プチド 際は十三日マユ 八杆スカンンに 東北方高地を占 てインパール平地に進攻、地上部 を献したるのちインパール北飛行 場に進攻、激騰し楽れるスピット 際に呼應してインバール平原上空

シンゼイワ無地の波喇以来すで 一〇わが販路関係を突破せん 所を炎上(うら)ケ州は 在地南 パレトワ近し

覧十六日後】カラダンミー河(カ ラダン附近東方からカラダン河に 【カラダン削線選歴、大沼報道班

MARI 衣料の决戰体制 精性を引きませる が生で次料に「元十三権の が生で次料に「元十三権の 新生 リアニ店名有店貸古書

# 早くも後点を開始一幕を聞して必数の巨弾を接下三ケ中でシノブン方面一もに爆撃機能は無烈な概念試機器

# 要 這元 東京大阪 新生化學 研究 新期的總代理店 伊藤萬林式 總利 京城 文店

精進一 の職場、この持場に、たゝき込製、何するものぞ。 んで、兇悪不逞の反攻を、ガッ 年必ず勝つ

やと、はねかへす。 きジンに、うち砕くのだ。 パピリオ 伊東北學研究所

る原情アジャ監司台部は十七日次 ールに移つたールに移つた の通り證実したと関へられる。 社

名改稱並一本社移轉廣告 全南海苦竹配給統制株式會社場光州的大利田四路五澤軍ノ軍

東城府光化門通二三九 東城府光化門通二三九 東北海門工八四巻 東北海川工八四巻 東北海川工八四巻 東北海川工八四巻 東北海川工八四巻 昭和十九年四月一模容易々誕告候 京海 教授 1 京海 教授 1 京海 教授 1 王 山 登退 實

### をもつて限を繰りから御ぎ掘の時 张 富 表 表 左 左 七 七 早 前 「東京監話」航空機構成の思し 甘分三颗化成OOH場邊、池 **倉衛、職員會各公職利施設を真古** 登、吉田社長、阪井工塩長に 郷 で、午後一時日本アルミ九州工場 旨を取過、現場作業ならびに社員 施設および現場作業状況を関係の 中に通防大宮御所、各営家に削険、夾邦御挨拶の記帳を行ふことになってゐる リヒン國を代表して派遣された自國客機特派大使フィリピン國會職長ペエグノ・エセ・アキノ氏係が 【東京電話】フイリビン共和国獨立に對する開閥ならびに日比同盟條約締結に對する答聴のためフィ セ・アキノ氏を姶國に派遣することくなり、同時派大邱一行は本十七日人京せり、なほ十八日午前宮 情報局發表(四月十七日午後一時)フイリピシ國政府は同國の獨立に對し時國において接助を 層員ら一行七氏は十七日(七後一時十二分経路羽田飛行場着人京した石に関し質報局では十七日午後 へ且つ日民間盟族約を解結したるに対し診蔵を表明するため特派大便として國曹醫長ペエグノ・エ アギノ氏一 獨立援助に謝意表明

清家侍從武官

田社長、中原工場長に「監督を原

理、それより丁夏合宿はじめ厚生

此律賓特派大使

平洋の北温西礁の兩作職が開戦以來丸一万年半にレ 本土空襲を完善することは至職中の至職であり、太 の意識が照明される所以はここにある、網鎖に隣の

月下の猛訓練(壁運省機器) 「寫真」國土防衞制空隊、

朧

◇ベエグノ・エセ・アヤノ氏(特派

特派大使一行略歷

い進歩とが難らされるであらう

ス兵、大殿大臣、王木交通部署官、

**片門被齊肚具、獅米翻灣便的** 

大便)現國民聯盟聯盟大東西聯軍

てなんらおもはしい展開を許されぬ敵は今見の如く

四部間に入った

ある

ってますく真屋を加へるもので

大使一行今回の使命はその顔鯛

り見るも日比例國の同盟友好隔

信節の振識に関し次の如く破表し 製局では十七日午後郎日動殿谷蔵 【マニラナ七日同盟】比國政府懷 比國政府情報局發表

> の深地なる納恩の誠然を説明せ の理想を貯取されたることで数 イリヒン人が熟望してゐた獨立

第二位此使節圏を導じてワイ

子子 一名 では できない

長)・十七三四年司法部長官に就任

フイリピン図物器長ペエグノ・

人々と極めて和氣體々たる窓路無一限との楽窓不可分類保はこれによ

大日本帝國が比島に對し致せる

厚面特に過去動世紀とわたりフ

大であつだが、獨立後は関外にあ

とに膨化したがその間比局が利益を持たいで、
原理など多数の民間がに就いている。
のでは、
関連銀行の
に関係したがその間比局が利益を
に対している。
のでは、
に対している。
に対している

九十機が來避したがわが所在部隊 巨廿九磯が、さらに十五日には百

を順感した、ついで十四日には二 が永遠、わが所在部隊はその一機 を概め十三日には敵戦爆百四十機

はその九機を職態した、わか方い

づれも損害戦後であった

三機を膨胀した、わぶ方被害なし 在部隊はこれで数略に配にして B2十二様が死機したい、わが所 アンダマン諸島ボートプレアに敵 【ペナン十七日回題】 士五日午後

ガ翁マラリヤ罹患

に就任、獨立離開委員であつた

(かど島

三三年財政部長官、內務部長官氏(機務大臣) 層林資源部長官

◇同ラフアエル・エル・アルナン

がした。

に対する解標の水源は引擎を観然一なり、わが方後密に対する解標の水源は引擎を観然一なり

アンダマンに

十二機來襲

何時にても本土空襲は行ひ得るのである

限にひろげられた大空の侵攻を意見することにより

祭師して<br />
肥視的<br />
々として本土空襲を狙って<br />
をり、無

各所に近郷を増殖し所く立直つた行力機助部隊を

ならない、常在磁場のッ行々を弾してのみ真に必勝

市街跳を展開してゐるといはれる 麾下祭四ジグライナ戦線軍主力を ロポリから南下したトカブーヒン さず戦を選ば十六日朝來シンフエ 報道によれば、セバストポリ海岸

壓迫してある

ブダペストを買爆

は反脳をいよいよ帰化派軍を逐次 あるとぼへられる、地方カルパチ 観れ縮を削る大空中戦を展開して 一百機の各額飛石機を動員、双方入 空間が急激に機烈化し雨重とも飲 パストポリ上空では十四日朝死航 徐万に固めてあるやうだ、またと 迄際退、長期出血作戦への態態を

果を收めて終了したが、ドイツ軍 破地域の揺荡域を敢行、多大の戦 【ベルリン十六日同盟】ドイツ軍

來館=英海宝省は鷹然艦レイファ

が原に東方から攻略するソ聯地區

同帯北方五十千口の郊外で激階、

あるが、國土はするはち文字通り職場として、我に

種何ものぞとの心意気のもこにその確認に放置して

いふどもなく貧後の國民は皇軍の衛龍に信頼し敵

**関地に標語を完了した質、ルーマ** 

大攻防戦の火電が切られた、前級

赤軍戰死五千 び市民と損害を生じた

ナルパの戦果

スとの國境に沿って立入禁止區域

しませう

た敵は四八一高地のわが包閣籍

を決定する首公表した

英驅逐艦喪失認む

のプラツク両市を爆撃住宅およ 米温機能機像は十六日白鷺ベル

入禁止地帯

年九万月を郷で再び同港を慰る

は常時この頭上で返機と回び職ぶの決意を持たねば

帝に至つたが、 而も際は 彦大なる大東距戦域の外 一室っては逆に更節インドの機能を居地せられるの

を捉へたのである、近代賦に置て國土すたはら職場

遊遣しての公大東亜の新しい時代を共に披露して行

の用意はよいか、空輿を現實の問題として敵騰減に

のである。荷しくもこの二周年を迎へ一覧國民終く の信息は雌立され、國米紫暗波の目的が進せられる

陸海兵隊を同港を去る十六キロの「「ブダペストナ七日同盟」反復戦

地特火船・青八十以上を機構し

赤垣は熨平方キロの狭隘な突破

| と配十六日競奏した

昭和十七年四月十八日畝は遂に花が不上空壁の機

行來朝

本アルミ視察 三菱化成、日

題として大器院長ホセ・ユーロー 行は時前大便アキノ氏のほか随一替大験省首席開充電アンドレス・ 空路帝都入り カステリヨ氏にわが駐比大便能職

澤本海軍次官、「永陸軍次官なら

寸尺刻んで肉薄

に對し継大の支持を與へ來つた派

リビン共和領階級受輸使的は十 今回の領路関係選の目的は二 つあり、その第一は今日までに

の間化と確立が造成されかくて

比島獨立寨榴委員として活躍、蜀巴古閣後は

パピ劇立と同時に事務次長となった。
は教育原生部次長となり昨年カリ
は教育原生部次長となり昨年カリ

【中部太平洋〇〇張地十七日同盟】

| 英龍=ボンベイ州戦闘十六日の経

とある

の敵砲長降地は

廿二機來襲 タロア島に

十五日午前マロエラツブ環礁タロ

表によればガンジー翁は三日前か

らマラリヤに催り弱ってあるが全一

に国古、めV

ずぶ久的整鑽的なる人類の平和一く同アントニオ・デ・ラス・アラ の首題落とたつたこそをプジャ人の強縮のみならしか後現都とついた 一式任命会れ改組力

の首風者となった | 前廿二種が米酸したが万年的味は、 会社命され改組カソベビの著曹上 ア場に破る第十三級、 F四リル機 たが被目前副機器強害務機長に正

一般的容融は心臓ないと解くられる

ングマイに割し離攻艦の火張を切

ら間に覚大な損害を織り途に目的

を進し初たかつた、際は今やわが

克服して着々郷立國としての内容 難成以來撤版下のあらゆる困難を かけで昨年十月十四日特別の戦立 るに政府の独客の職をもつでする ずべきは必定で、わが方でも剥す い知道、緊急化に多大な資献を 動

駐日フイリピン 大便 バルカス氏

に瞬期中の村田駐比大庭、また

敵命脈寸斷近し

を含シルチャ道も高数ト個用不能に陥った たるシルチャ道も高数ト個用不能に陥った

**国より救援国を総出し、ニテユガード死守に征撃レアツサムーベンガル総追の迎命が決るので際は各方** 

模る数と新し選月内野後戦を敗行出、セングマイ東方高地の影戦に った諸部隊は阿日夜〇〇方面に

を楽しつくあり同方面の戦局は世

一族、脳族存主力を包圍、潮を持第八十一副四部六十二記とび第十

流れ込む)のデルタ地震の四階軍

してゐたのが攻職各部隊は十三日

野加によって動揺

平原が一宮の下に席がり中部印度反偏間暗場大栗線

西遊部隊

に進出、印度國民軍挺身隊は同道路通行の威部隊に

五日ビジェンプール西方十八粁の同道路南側南地一ガードの高地線を一度北上すればプラマプトラの大

プラス、魔務大臣ラフアエル・エ 大阪大臣アントニオ・デ・ラス・一緒一等意記官が附添ひとして同行 ル・アルナン、カリバビ副艦競・一窓がなく入京したもので、 最務施長オシアスの四氏並に脱っては青木大原龍相、松本外絡次官一 十六日マニラ酸釜中間岡一泊の上 便は昨年九月比島郷立前にもすで ら多数出逃へたが、アキノ特徴大 歌したことがあり、何れも関切の に大統領ラウレル氏らどもに來

Chix 17 10.

東京到着・青木大東站相と撮手を交す

アキノ氏ー

**a** 

8

地主の

蹶起

生酸實代類光 三十六百萬石、數一 に對する際が解析不可能である。

指導者と名のつく程の者ならば

一六十二萬石等々はこの三者が軍

一覧となり整備されて初めて可

能指揮の域あるは 治臓であるが、 技術指導に だいて 職 離でも這般の事情を知悉してゐる 説

小規模士地欧民事業は昨年十一 技術指導

足が特に将手したが結局の

の方は智慧館に隣民が、而レマヌ 能となるのである。土地改良事業

> るため施門技術の信箋が肝楽とは、御箋であり、歴民は大細田族であ って死るのである。 かつて小概態質が道殿せる如く自一の質は下に際化態等すべき地 る。衛大なる土地と多数の脳民を 間機のことくて独行場に出述への

くいぐいと引つ張って行き気行さ

相称って、物が以上の消滅を見せ三のない取り大機の主流しなって、種子の政教な、前門を織の指導的として振い言されなばならぬ。
が指導に指元虚形の治療物質指摘が、動差原木の他家の権機者が象を論の生管をしただけでは不十分で、一套他郷の如きは魅力が終めの紹介子相談の紹介す のである。金肥不足は堆肥でと言く際民な今日、しかもこの勢がほ って初めてその目的が達せられる力において、肥粋において確定し 際地利用としても並と種子、肥料、助を腐酷し返現子珠、同等なすな、指導を加へない不在地主所有の紙 「製造手腕の質質を天下に間はる。 的態度をより石雕左眄してその行 地が質に工一面一千八百町があつ 合属域内にある小作人に対し原料 主の場合は重大である。昨年六月 に放八十五石増収の見込がついて した指導を加へこくのみからで低 たが今や腹木質の瞬間により機能 の調査によると安全省だる水利組

は内地震医に比し悪魔物様に於い、十分に軽くてあるであらうか。記、魔を排し縁成せればならぬば緩な 低位にある。従って技術温度にしたては果して如何。勿論植物はで、地主自身の自然とが強となり、 て土と例する感給に於いて描しくんや小肥多吹の施肥技術の治療にのである。或りにも貧弱の指導と 全然ない今日概念生産原仕様の確保加重こそすれ整確する見遠しが 保は容易の語ではない。よか 聚 はし、不在地主が土に遭へり、その 押してまっぺきものがあらう。上 あるのである。単國際道の本職を 上部局の技術指導が高金とないは 二十六日間石はおろか三十男石も

「解禁器」成農本會がそれである **塚者の態際起、こくにこそ**慶樂生 産の飛躍的増强が期待されこれ以

主の歌起を見た。紀元の佳所結成 トル平方位の地域に難の東の如き林の交通路の要割は三、四百メー ったのが部隊は丁六月型時四〇五七島和(インベー)のまつが部隊は丁六をもって刻むといった東北側の三七の東北側の三七の一大東北側の三七島和(インベール東北側の三七島和(インベー) ングル防禦職法を採用鬱蒼たる浴

外に登積の自給自己協制の確立は サミ附近の敵魔地はいはゆるジャ | 貸土六日酸| コヒマ東方世粁ジエ 野園なトーチカ陳地が機能されて 「アツサム前線野口、福島報道派 たゞ闘魂、ジエサミ蜂窩陣突破 し、観空音ションの細胞を調化し、観空音ションの細胞を調化 が巧妙なことである、これに顕れず、また至近的際の火網糾綿 銃、手榴弾、追撃砲など集中火

る。郷景のため世に心臓い戻りで 総上げ三茂されるのではないかと

あることは勿瞰であるが、意識

の必能は土地改良に加ふるに

類よく解り易く動へ導き、時には

であるが、それでけに営賃なる肥

土地氏は土地は食物地産の共産

刷物を配っただけではついて來な

り肥料の選不遵があり、施肥技術

だいてすら難語の難事

も単し形式的な説明や、別なや

記録を示してゐる。北照地方は氣 月末和在で関数的方は八字が一

指導者の総験起による歴民の地震

質能物の如何である。使度が本

が半島圏民に大量に、レジも民選 つても保して指導者が骨身を悟し

特に会北の須会は十艘第一の
歴史に對する技術指導と、同じく

棚っぱ 指導者のが限に ついての

の関係で三月から行手したとも

五月宋竣二豫元が相信程度

概でも指摘してゐる如く半部層因の地肥を眺望する財務を、控稿を

就中インパール東北方 ニ 軒セングマイの陣地群等 取取においては彼我時間相期つ波圖が日夜間圖水く一なってあるが、我結総部隊の改進規模く、十四日以 し引鞭き猛攻を加へてゐる、敵の振振ら頑頭を極め 南下部隊やの影響をは十一日以来イン インパール攻略戦 懸崖上に竿の先の爆薬

じてある。とこの情勢を認めるに至った、十五日現在の同方面における戦烈概要は次の如くである 一に往入し兵力約一萬を拒結して最後の抵抗に際間と ル東々北十五粁)を奪取し、創造攻撃中である 地像と進出を添け痛然な残骸戦を浴せてゐる **郷の残官兵力の他新たに有力な後仰部隊をこの職績がつけています。** 來この敵主力を賦下に解験するロクタク湖西方の高 北上部隊

ベランをドイテノール会地南関門で イラン及び西方の要類ビシエ

プリーからの強性衰退も「飛行車はインベール平地で完全に日本は原像でと始るに至うなと士立日報デリーからの強性衰退も「飛行車はインベール平地で完全に日本は原像で、戦命能で戦の直側にあり、ニュー インパール外郭激戦 行中である アツサム北進部隊

對するわが包閣職等は急速に進展してゐる、ニチュ のニチュガードに辿り延文中で、十六日以來同地に つくある日印同盟軍は既にテイマプール原南方十粁 もつてデイマブール道に沿ひてツサム州部へ突進し コヒマ攻略後周湯の威廉を掃滅すると共に主力を 北側高地に激戦

38

【印度前線長谷川報道 | されてあるが、わが部隊はインバ | 巻にれた記念記録した、 /東北十キロの11元1四層地を| 郷に傲寒、その所に遠し、十五日以来脱悪を終けて 殿線に関係を抵はれてのた歌は新たなるわがこの攻 戦じ、猫々敵を墜消中でインパール、デイマブー

の三四四九品均附近の版陣地を猛一四キロ)でもわが消鏡精部隊は驱 一般を服乱してある 四〇五七河地(インパール東北十 日夜週、肉添販を除返し屋敷なる クルル街道に指った「競技の<br />
監路口 | 道南間のコングボンク高地に進出 取にも 道路上を時に近 出し得な と見上す戦略地勘を確保し、微に大動権を一段へ、一方國民団は一頭に しインバール、シルチャ道を既下 いビシェンプール世方十八キロ本

道に沿つてインパール盆地に 日酸】トンザン、インパール深街 込まれた第廿三師関第卅七旅園お お第十六成職の漫職は関下した 包菌態勢整ふ 高 4

壓 В

息·神經痛 H

大阪市東淀川城三関本町大阪市東淀川城三関本町 ンプル中三、〇〇〇單位

を集結し、インパール南方の凝點 シェンプール周遷に約十萬の兵力 教たなる対接部隊の交援を得てビ

9/25 一方十一日コヒマ街道

石に頑張を疑る壁の処職地も英人 確保するのであった。かくして統 2 の巡しる機関に続くも五解し設 開誓加させるの成果をあけ同志を 離まで際進して敵側の以歴兵を指 | 「温泉十は水南至方面 心神の強くの気候の見

等の先につけて騒音の上で爆破さ せて一様とこれを透過せしいろな て行くのであるが工足際広爆策を を取り振ぶ用りつく敵戦に高減し りは目促しい限りであった、懸地 ど破壊内に関り込んで変数する第一 第刀を振り大変化的である〇〇部 を表示さ

一方シルテマへの観光器に辿った日田振り記録は、日上別記録なる地域数観歌が構るなど推出を発け指数を建築戦な時代と出った日田振り記録は、日上別記録なる地域数観歌が構る 班員十六日發】インバー

占領、引続いて同高地四南四キロ

攻中であつたが十二日午後十時折

**推定地と欧盟政略を加へ** 

土地の意頭には生むなく死もなく

を選いているはの対象が回の対象がある。 全種に対しているはのは関すしてくいが、 本風間とているは関すしてしている。

を利用しば中から網製に細見さ

をわが記憶によって顕地外に

の尾擬芸に対し引着き猛攻戦 パレル要螺に立てる減酸必死 てある プチドン、モンドー正面の敵に對し南部國境職線 南部國境戰

線

くそそり立つた岩山の裏崎で突

ビルマ00芸地士八日同盟」ビ

陸鷲的

敵痛爆

成功

部 化 以 上

レトワ南方〇〇キロに肉源した 概念急退して失趣が際は早くもバ を切り長風の如く戦陣に受到、欧瀬群を別して一層に認攻撃の火盛

の敵なビシニン

ルおよびモイ

「リスポン十七日同盟」ロイター

セイロン島へ

そ反映で試み、こ

東南亞軍司令部

関中である

の日印同盟軍は交援部隊の増援を得て全面的攻場に 日後、インベール盆地の極第四年 【細門削級〇〇中局報道 習過十六 退路遮断

の貼一の場路であるビシェンプー 部隊の将銀は所在の職を国帳しつ 間100附近においては時間間 層かられてつるが、十五日わが

ラン南方二キロの京路上に沿って剛 (0)野春日 小小川家は破跡を備 うで観る個に

経帯火を治さずけ へつつ心り自下波 | 今場節約五氏(朝鮮製練副町長) へることうに減々 消息

風痛 入ルブンアー 円五廿 第一

所

朝鮮水產竹材株式會社大分支店次分市生石六六四朝鮮水產竹材株式會社光州支店

(=)

規格縮減、大衆品增產

沿家の世 郷の関係から無数高は流 されてあるにも拘らず資材、努力・ルム

で完璧を期する を指向すると共に米場耐給の確保 に完璧を期する

外地關係官七十名出席 一近い関格に改め資材、努力の資本がはりに高級品や散資禁止に 趣に出荷哲任制を放航する

統制を開化すると共に、荷受機関の四種定消報助を掛大し出荷 脚を接触し未端原給の適正化を 貫油その他資材の割質資を基 現在の京城、釜山、大邱、平

□ 日本のでは、 □ 日本のでは □ 日本のでは、 □ 日本のでは、 □ 日本のでは □ 日本のでは □ 日本のでは □ 日本のでは □ 日 第一日田中政務經驗、第二、三日 影協議を送けるが、曹陽の統領は ン司法行政につき次の日程で重 正製化の條件を研究中である の製法研究を微細に進めると共に 殿を傾用したのでアルミナの抽るが、従來の實験では多路の硫 十百号を確骸で原理する場合は

医機関第の性格につき関系中であった。機関第一般のため、企業時間をいれた年度の計算と対しる機関第一般のため、企業時間をいおける機関を対してある。 繊維統制會 天然条件に左右交孔がもであり、るるが、この不然の代けにリク・激化する影響に衝現さいのわば、瞬に悪いなばならず、これは微一緒もはなずめる蛇である。天日駆魔法による管子の地蔵は、は狷在護元献に木炭を傾用して り無火難化マグネ度整数組の工・電磁を折った りすること は組)る。しかも油に作り得るものは天日駆魔法による管子の地蔵は、は狷在護元献に木炭を傾用して り無火難化マグネ度整数組の工・電磁を折ったりすること は組)る。しかも油に作り得るものは とは絶對に許されない、鮮内のに避けねばならず、輸石併用法、医的に親り出すことが急熱であ

企書照其體演、蹈問答申

园

教が所能を言る

資源戦力化に成功

推動像の巡話は生産資服の一方釜

じめとし地産原路の打開に温馨高 はなかった、しかし食物問題をは

見聞するとを得たが、特に地元軍一ても別職斯る際向から免れること

**物酸所理率を約率とする回答を整へ者の運動は削縮四分科資が** 

としても何めて注目すべきものがある

必要性は耐く加重しつくあったの

生擴推進會を設立

軍官民一體の平南生擴推進

硫酸を節減

アルミナ新製 法研究進む

の銀や用収額等がの域的を成った。 では、イン大田地域毎月が1水。 一の銀や用収額をおってめても 一の銀や用収額を取りた。 一の銀や用収額をおってめても 一の銀や用収額をおってめても 一の銀や用収額をおってめても 一の銀や用収額をおってめても 一の銀や用収額をおってめても 一のまで、13を持つてめても

の工業地際なるか否かは更も的、一地際が果している如く全國第七位

一番の側、前性型解、例上型像の上級ではいめ間は前所を開、三菱マグはいめ間は前所を開、三菱マグルいの間が前所を開、三菱マグルの一番を開発しません。

また断る工場の密集化が國土計費

由來、熊内の雌工關係については

費間における緊急獲得困難な資材

しかして唯初の狙びは特に物質の

運営軌道に乗る

を物質分科館において取締め道を

開催、これが確保と所切の成果一月末期保方面の連絡打合資を一月末期保方面の連絡打合資を

を収めた

ては役職員を動員して現地客間、環境館物非常増減期間におい

が認識されつくあるので、かねて

るが、しかも関係なる立地集中かしつ人あることは周知の事質であ

和地工管施工場、超工化學、細

ルミナ工築の國際原料への戦後

所第一會職等で三百間と言い用他 監督官會議は十八日午前九院学本 丁九年度の定院裁判所、柳雪局、一ア分館を行ひ水骸化アルミニュム けふ、司法官會議ひらく

法は耐次音汁鉱石肝用法或は蝦鹿流法に分類されるが、善汁

石法に戦争する 題にある、こ

善力法又は当分數石法の技術的 來賦内マグネ各批は歌歌ガスを了することが必要である。 なほ 用法で特に比較を要するのは従

設備その既で能率を著しく増進 配力が近 約出來ると共 に監設 してあるので、その工業化を管 なられ、この無水酸化マグネの

な性害汁法・咳は苦汁断、石餅、及すれば鬱酸ガスの被害が少く

**著弁顕石併用法ならびに**直

を研究中である 成して企業問題が成立する限界 

郷石併用法或は

れら各域法の監 野別について

木炭に代替品

マグネ増産へ鑛石併用

■複数元法についてはこれが、元法に製造工法で油を使用して 定することをも添れてはならぬ。可能ではあるまい、たは喧響選

あるが時間下鷺質な油はなるべ

く関する、これに代り得るも

充分に吟味して良価の同様を選

へば損失率を防止することも不

配約分解に際しては電像の質をに對してはいま一段の注意を排

し得るのである。このほか時に、ぬためだともいひ得べく、これ

威者を変感した き、近て必布質施される新原質要 陣容を强化

協議し、また廿日午前十一時半か一 郷の質施に伴ふ質施手網その他を 朝鮮の金融マグネ工製は若汁 戦活的目法への都動物を入る。 な体等子法 東大等土城 戸除山地流力、経路などの『宮崎など』東京あるのでとのリグニンの値を開発されるから中が開連かに、用を建筑に続くるべきでありうというない。 響いの音が音が

近く出荷に責任制 生鮮魚介類の末端配給を確保 を迎へて顾客を開化する 近く内地の竹内原假計算協商主事 海軍工業協議會構成

規格を三分の一の甘畑に整理館一切まり動かりがいてときていて、現在六十億種による錯異なる一たが、柳スフ部門より近く生産協 なつた、しかして右貫行生態機制 軍工製削器質は目下設立時間を急 【東京電話】海軍友端工業の横翻

の計算と整理質

| 確立に方り、調査委員として東京 帝大戦授柳川昇氏その他の衆の極 原四計算協會朝鮮本部位十九日十一 一時半から本部に研究委員會を開 會朝鮮本部原價計算協 翌帰別工築官 戦船(将軍の三協力智は新設するもので 工業質を整備統合して左の十三工 た、このうち野家、皮革、炭素製品 業曹、七郎力僧とすることになっ

以不同じ) 雅用品、皮革、豪架、对不同じ) 雅用品、皮革、豪架、物力會 網条(攤堆網索協力會 網条(攤堆網索協力會 歴史 歴史 歴史 歴史 のである 一箇につき一回の郁助金を奈行一箇、液肥、溶土固、液肥、溶土固、液肥温、腹臭

ることくした

即ち米穀頃薩初給金中壬二百九

を同信本時間が聴き及び切山企業 へほ同信本時間が聴き及び切山企業 へほ同信本時間が聴き及び切山企業 黙事務官を理事に遺任すると共に 今大電視の意味と語言を一般に撮の語演音を開始、繊維後には複像語句もなどの影響が、近、始終者、と思くる 稅講演會 語画では、

京城輸議同級蔣統制協力替後接で

廿日午後一時半府民館中勝当でそ

自給肥に獎勵金

では、金配の生産対点に住び受験 野出版の基底をなすわれの総合推 野出版の基底をなすわれの総合推 肥消滅に導ら依存することとし、 を許さないので、際階局では自給 本年度目標百七十億貫 て採薔場の間引、瀬排水、移植するほか終肥採稈の商保を期し

なほこの輸送計選を完遂するため

時臨役の腹渦をとる方針

たる道路局の道路たる機度と現地

節務、輸差特に小派送等階事間の 軍幣局の領極的交換協力は食賦、

十九年度の超速目標を百七十億萬 質と決定、この達成には朝鮮隆自 を怪信に増産運動を頭力に接限す ならびに単無資材の緊急増高に伴 「東京電話」
図内電板の急波開設 **私鐵、計畫改編** 終夜運轉强化 衆を支給することとした。 並に支柱その他栽培護師のため 今迄一部登録化されてゐる全私気 輸電動率の後揮を翻るととなった の終夜運興をさらに徹底せしめ軍 「東京市話」石渡島相は十七日正 大藏省顧問初會談

が、私郷物道の注触物差別世に一一、 一般の再検討が要請されてゐるのです。 一般の再検討が要請されてゐるのです。 すべく関耳側師を鎖めてある一十九年度輸送計費を一部欧崎順化 を共にしたのも石渡原相より韓国 并坂治よび柏木の全層間出席午餐 の財政金牌階間限につき説明各種

て午後三時散磨した

問からそれぞれ意見の開陳があつ 午官邸に随名間新後初の顧問會談 郷せたのである 現在の同額は前記四分科會のほ 関金研究、専門知識の普及啓蒙會、見磋會、関係機関との連絡 か、軽金融、観響、石炭、化學 高級により諸面の問題を の四席門委員會を有し委員會選

際、折角出來上つた貴質なマグ 機の使用に留って細心の注意を ネを損失することは注意が足り 次に信果分解に皆つては気候し は最後に避足以来の同館の活動 増産への客風徒大 に関する医験質、附近者の開催 情能も解ぜんとしつくある

一、昨年九、十両月の物管分科會とその成果について簡単で見れば 府並に關係的給機關之近面、特別的形式。在實際的語彙的主義。 の決定に基を質問間における緊 制とこれが行政責任制へ、川原する

劉朝世二郎、その他七十四郎の一三月 宋治に機械類、廿三點、日 道内交流物質については交流 ろてあらう(渡漢特派員記) 野宮民一院の威廉なる態度として も際、他のどで執るに足るとこ

中であると共に先兆候件であるのを使ふことを考へるべきであ

関係管轄、會長に耐付け経期。 十八點、その他七十點の資頭に、機種類四十一點、緊圍類 三交替に切 重勞働能率向上

関係の場合連絡して移動防止に

全面的に十四時間作業調への切響 【東京管轄】生産の飛網的均衡を

四、繊工疾師薬の際成と競力増弱を企画する認道官、映整例を特を企画する認道官、映整例を特をした。 を勝行しつくあるが、これが覚施 十一・三名の液増を見せてあるとが、これが覚施 十一・三名の液増を見せてある。 (数のみで夜ば作難しない)

倉庫を擴充計量 米倉千五百萬圓に増資

三帝の一千五百萬回に均強し第一を得るとともに資本金五百萬回を 五萬国の徴収を終ったのでいよい 株につき廿五回宛合計 一計数は二万年計数で十九年度から に對し一国国、明易意味は一ケ所 ・る獲存工場一千餘ケ所を専用す する管で、一般意味は一ケ所見出 ならびに個易が国をそれぐく建設 低崩するが、差割り猶米幾整備に 何であるので、 のは何塚炭をコークス化する場合 のビーハイブ帰収開資材の確保如 かはない、その場合に問題となる 際族は諸島外族の輸移人に俟つほ 開せしめる方針であり、一

世五部に対して・一百八十八回の 定時株主練館を開催、諸期階決算 即十一時から京城本紀に第世一回 國面補助を受けるとになってある 分据置内定 はせらず 次に雑設はしめる方針である の設備も相陰地頭するが、これら の設備に探禁室の高い工場から取 り、粉糖の理のボツト式間易

町で い♪勿願われらば軍略のとに口を

ら王称のとはなかつおかも知れな

職権が語るとに必死となってあた

派に楽しるたら一覧哲子の将兵を

あたら王体せしめはしなかったと

器散し、努力し、他後の動めで立 出すべきでないが、我々がもつと

(可認物便勇履三第)

半島企業整備の前進

後一類の明礬を生成してアンモニーあるが、財みにいま操能が至述被し

題で、

それらが形成するこの

皮九九・八%のアルミナを100 元中であったが右幕士百号から続

は未ず完成されざる工範地帯では まで無対に消し、死つたことは恐

力に勝する所供して晒くない、

能率及び建設地での如何は直接版 の軍要産業である限りこれが生産 としても、その何れもが現下際緊

と『昨年士一月、中央、地方を通 少くない、斯る臘陽の排除を企圖 が増産の除路をなしてゐた事例は

> ちに競屈を選げたのである 一回、実際表も移動を開発を加え、回一 発工場、悪いの第二級、第二級 で下飯坂知路は昨年八月道内各重 が態念が、損害、損害へき

川造兵廠作業配長、同平銀製造

能物質を開査、機性的協力による

温速道を言題つかのである

貿易若くは一般民間所有の交流可 可能物質は物質交流委員會を討け して取得に努める一方、道内交流 すじめ関係質局、耐給機関に折断

★現地における推出資配とついて、に至ったのは周知のことであるが、よって記事に同地一様の建設度は、工局地に各道風工部の新設を見る

輸送の各分科會に主流一名をお 輸送の各分科司に主査一名 所長、地元新聞社長らを顧問と

一の願かくる伦戦も信初からの完全一が爾民職力職則が主として取力増一進めてある。すなはら右官院職元

以上は極めて大難地な頻繁である

よる国际社長な中心と過渡空間を

つき中央智局と折断中であり煉炭

見下これの際保に

工場の進出を決定したこと

回拂込金一

が出に成功したので、目下最

酸法によってアルミナ抽出を研

所聞与南間上輩出席の造成が斯く ら大同江に沿る平嶺ー郷南前間の

学品質及び両編士から特殊な

配給部門

中間段階の單純化れてある現状である

でする木灰の頃のな完全と終行せ

と伴って虚単技能である機構を整 と作って虚単技能である機構を整

政備の原案を作成させてゐるの職を發出し名組合をして自治的

の政権は国家的思地などるが治理である。

電子がけて日和見的な劇段を図った。 ですべき製造のである実習がある。 関東のためとはいく一面同 ですべき製造のである実習がある。 のでは、 ですべき製造のである。 ですべき、 ですな、 ですな、 ですべき、 ですな、 ですな でする ですな ですな ですな ですな でする ですな です

自治的整備に原案

しめると共に物質基準の駆然に対

安定を確保せんとする非常指配で

より企業整備委員面を組織し實際

よって各組合では質局の指示に

めるが、影響にとつては企業の浮・関連に基いて整備収録を作成中で

設を設とする中小館は、湖

鉛原力と設備の供出機活用に到す

・ 関して中間配給原際の数線化を通して中間配給原際の数線であった形

折る時外事情のため除期的力の

設生的に成長し、婚問な資本

平成の影響を受けて共産性を

社長に清水氏語』日本 の各件を附属するが、原常は年八 敗逸、湛土心質に対し耐労企物品の表権避、同安永原七氏任期避了 伝え行った結果、左の略氏が強 立場南を開湖、足数間定、役員圏 江原造鐵陣容決る いが難の消雨間勝を確立する 反省することは一回続受へがない 度きに北陵に移し、安居の生活版 と思ふ▲そこで我々はこの反答を

日本倉庫統制

発した、たば木造船亘五十トン 役有馬納職▲取締役工場長期留 一度を築てメー機一般をも割く階場 と知識してある。ほうた子に数へ られて迷潮を渡るといふが、脳で 申合せ、預算を導て入賦約しよう の物みは、また成り戻せるのだ人 ぬ、「我々の力が足らなかつたり 國民副校の見望すら、金融回収を

を真例に記録されてあるので、質 烈の度を加へ、これが終速な補正 てゐる、斯の如き質的主義の歌響 を切け締結計戦の一大陰路をなり 選に流れ、情質取給の問題作用を

国家の合さあって四部がせる報道 10回を明確する地路機能の経済に 電道がの一級であり、総勢的学上 と対する経過点に必需の分配的 事を完全に終わ扱くための非常央 曹叡主義の 歌意による 南電配格 ない、また一企業単位の整理政策 のための産業合理と説動でもない 方針に修正を加へて取動的野成にある。明ら期代主義的大権控制成 を行したとはいく、既在報告を極います。 変行したとはいく、既在報告を極います。 に質細主能をはませるを得なく 助成せしのる意園の下に輸能主張一ち数年本郷工業の急速な製造に

> 光、監查後師田外茂夫你氏就任に 他に利益金の分案、政務役村井弘

で整度を加上された関係から配的 これが認識をなす、ころのに物団で開発を受け、 ための耳道の解析語の影響を受け、 ための耳道の解析語の影音解釈の これが認識をなす、ころのに物団

の整備を関リ整備された機関を一种的芸術でもある

即ち小規模なりといへども今ま

するのではない、関語局ではあく

て企業整備に本質的な役割をな

の際があり、却つて増頭を宿販さ

給機械を整備するとによって取給

分の一に過ぎ一般情、気力とも決

概や医性である。他ろう

ある、機関すれば前頭選択と努力 の維押を終局の組ひとするものでこれが根底をなすところのに物団

とを限則とし、重要権材、 と用給業務を拘留せしめるこ

の前化と伴って一般が続く指った記

和く恨れある場合のほかは生菌に関鉛の間形化と物質の偏在を

で自分の部数と規模を与て自身に経営と終った個用者の立場に対したのに関係を行することとから開制が動へ移行することとから開制が動へ移行することとなって受ける制度的関係的言語を見れて限機能を取さしている。

までもない。企業整備は大東品面 四届と明朝と果敢な電話を推進す 低物質の側面的促進、貯蓄弱化の

して繋ぎではなく、半問事業の現

てあたが、支那年地の別時に加過

るのである、従って内舗取得の主 る内地の企業吸捕と未知を見にする内地の企業吸捕と未知を見にす る別様はあまりかけられる質情に

眼は生命力の増加と音様均両の裏

的な自彩を多分に回願してある。

放と整備に作っては既存降長線

を確保せんとするものである

し草くも深い臓を鳴へるご言り、

に消費者の関心を集めてある歌は

であり、派に振荡者ととっては緒「愛えると過ぎないものであって次」へきからある。場合は漢言な安閣ではする場が、両端間へ一人でも多く関係が見ずてのであって次、べきからある。場合は漢言な安閣 べきである た同情と特質が決敵無常の連続に 術せる國家的立場に立即し切力す 及ぼす影響の東大性を順成して透 職能主義へ轉換

店舗は疎開の方針 家族的勞務經濟を助成 一島圏正と観路し、また公何にして 如同として 悪恣勝数を 全 餘期労力を多野且つ効率的に疑急

は「魔では胃臓主義に代るべき過敏と」「魔では胃臓主義に代るべき過敏と」「大中小腹脈の生的場合薬さる本」

一部の明明安定を自然に活動の河正 一部の明明安定を自然に活動の河正

る格果となるので、綜合的給所の

州な信命を記げ、ひいては関誘致 るのみならず、関節影響物質の回

れが簡保に個欄を來す場合は知つ の統則を受けてある現在に於て配 備を無いである、即ち深合品格所 管理が困難な事情にあるので収取 困難性のためば合配給所は混然な、 への戦後戦を考究中である ることは到底困難であり、若しこ 様とするが民儒物質の地面に高度 を設めせんとすれば生活必然物質 いては本質的な錯雑性と支続的な で配分を顕力に推進する方針で戦 全部ごれを綜合的に垃圾みを理 店舗を郊外地へ 不能配給を混乱状態に貼らしめ お主要都では飛河的人口が加を

ると共に移動物の一部を補助する しては商品の歴先配給措置を聴す る方針であるが、移籍事業者に対 よ過数して郊外地域に移動せし の如き旅館に既め店舗を常扱地帯 の大きな関因をなしてゐる、かく

即市の文献的發展な阻害されてあ一分展置と反流 され、配給機械が人口物に作はず 宇道成と相俟つて郊外分散に 超果、世帯の間に運物質此の住 招いてゐるので、國土計畫の息件 と促進されつくあるが、企業許可 から都市分散を積極的と低速した

など手限い國家的助成を與へるこ 社との緊密なる激素を保つため日 区別催、社長に海亜中路滑水光災 夏宵は十五日 丸ノ内 工業保険部 調したが、新競足は五月一日であ 本港運動機の物技を維務し、 氏を捕取喧与に運通省の昭可を申

8

震

總督府研令(十七日附)

打けるのだとなり、個とななく相

肺肺

肺炎ニ効フリ

万至過が辞惯してゐたことは富姓 ても現地行政省局の實行力に不安 で記者が二、一一の民間會員から直 國防心理學とは 天 野

兵の心理(四)は、防縄・高振・文化

工作の問題(五)は、原第者の心理

軍心理律長であったヤー

であって、前大阪の時アメリカ陸

規密することは、数目的の長日の

(エル大副教授)は『一日影響を

寛大な原義の節数となる。而して

母指動員の宣鉄からみて、ヤンキ

ーの例の大豆は際と聞き捨て

の方法が、

製業

関の大規模な心理

らだ」と述べてある。一大研究な首

的観察は微へられる所属る大であ

とする本邦戦史及び第六軍の統括 大阪史、第五頭の日路競争を中心をであらう、第四章の第一大阪院

製造元

杂食 致致

. 円 平

商會

金国泰店にあり

このことを特に強闘する所以は、 心理校在に提する網数よりも通に

この仕事に既任を称する吾々心理一の助があるの語者は京城院大教授

り便化文

の著作物を誓うて寄贈されたとなつたが、同習見は頻道 ることを望んである

報道された。この國防心理惑とい 防心理器の問題「る英格である。をとひ國防控制が一般近の調査で國」らう。即ら「國防とは特殊に関す の測性と訓練の問題、七、は、統等 と駿野保護の問題(六)は、各兵科

まり期待してはゐなかつとこと率

接続いた所によっても一量初にあ

ふ名称は、わが國民には耳新しく 軍事心理學、大学心理學と呼ぶれ は順用心理學の一部門であって、いふ客物が出版されてゐる。これ 既に十年も前に『団防心理感』と一は如何なる問題をその研究対象と 難いたこと
ゝ思
なが、ドイツでは さるか。一昨年前出版房から出版 らばこの國防心理魔は、具徳的に 日本の國防心理域が如何なる問題 盤に関係ある樹碑的諸現象に属す 盛 (7) 指揮統御の心理感 (8) (6) 宮原心理風と比較民族心理 関語複戦の條件に関する心理學 及び國防門の艦制に属する心理學 音等々に関するもの) (3) 選扱 回際組織の心理邸(2)配事作家の苦語が見られて面白い、叩ら から日嶺隣國の國防心理風の怪格 表と戦べてみると、そこにおのづ の心理、これ等を削減のジモナイ (4) 訓練及び教育の心理學(5) (1)0心理學(航空、通信、測距、聽 ト降土が掲げてゐる左記の附名到

氣を醸成しつくあったところへ十 職大調道と共に前く原館なる雰囲

一月の行政機構改革による販工部

の設置は完全にその漢語を軌道に

|昨七の首葉を引用すればながであ| 階間壁(三)は、脱海とだける線・より筋関のこれを認めてあるの | ては旋葉を繰利に減く政策等の間に口された等荷ンキナイト | る(1)は、脱海や危険に関する | 心理関の重要性は、脳側部関はも | そのものについての経路膜が悪い てあるものは、いつれもこの中に この質問に対しては、前記の著書一に関する心理的な問題が取扱はれ 含なれるわけである。 何故に國防に心理風が必要かり を採り上げてあるかぶよく分る。 題で、こくでは成階圏、加湿度等 明らその(1)は、航空心環の問

なつてある。

石の如き諸問題を研究する國防

の意味でおいて腕筆史といって管

値するのみならず、

の歴史を消じて戦争の概念を把握

に、我々がこれまで習って來を歴

とは最早論院の絵地はない、然る 身につけなければならぬといふこ について正確な知識をひととほり

ところが、四手井綱正勝派長波書

◆立即居之坛(日本文思報國習品

**郷を持を開催する** 日午後七時から府民館で注答

北鮮地方観察中のところ廿一日

剂良病経神病腦

今日我々が影筆及び歌筆の歴史

歴史を強えさせ

讀みて 「戦争史概觀」を

> 味乾燥且つ平板的なため、 淡が思る不厭明で、極管すれば無

等科機側)はこの皮の開省を検 會に半島終戦の明星と願く、廿

に秘便

へステリー を本中 医療 中 医療上

主効

史は治と 懸撃中心の 政治史でそ

した問題の基案 献少格だる著者が歴大においてな 店刊行になる本盤は前屋大路事屋 られたとが告白せざるを得ない、 の方と思わずれ

あるから、極め

で正確旦フ信報と

五日添和館七時港館で明く は日本報個人展を十九日から廿

題論心理場と置き記述の心理場と

新たに催施されたる軍器生産可任 つありとすればこれは直接物的版。それぐり事物にもすることで側への繊維的部面の強化を楽しつ一れを採用すべきがは各二環本戦場 めでなく学師に負荷されたる搬工り平南における地方問題としての べくその成果は決して少くなく例 炭工業の如き三豕替への思切った 移行が増産の切礼であるとさへ見 ンがし最近の著しい傾向として三 一的には決定し難い問題であった 能が脈次増加の機器にあり石 は比較にならぬほどの重要職であ る、然しこれでは疲勞度が高く能 十四時間前後となるのが普通であ らで適時その他の時間を加へると 地震完全のため作業時間が延びが 一時間を控制を採用して死とが、

徳里能率が着しく低下して再び 通がに良好で日曜九州作談所の 通がに良好で日曜九州作談所の 能率から買れば三次整制の方が 制を吹ってのたとしても作業 問例などから日むを得ず二変替 從來勞務者の不足、深夜の交通 が一般では、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、 網することが影率向上に役立つこ とは勿論で、三池炭曜および飯塚

三交替への意向を試闘してある

合 成 特 製 実用型 **木製運搬車** 

数価、石炭、航空機の各部門別三汞糖に引戻した例もある之を 及 一般内小型高速の起設及で運搬投送一中福院金譜被印付表任官を以て得 操業高率工場へ優先 小型高爐に有煙炭と資材配給

排と五〇%の火入れをみてあるが 松和地に帆火煉瓦の確保射策の 現在最大の操縦に出となってある ▲本府交通局番記江口盛利任本府

合成

5

作所

信派と無理族とを半々に比率で して監判対策として本年度は 認なる確立が要請されてある。 能がの語いたもので ではなく、跳後の我々 玉砕け版がさせたもの **分解ない皇軍府兵の** 

同致協協一

い人をが、航後の一個が全部職場 部がないっといる言葉を讀んだ人 にして服路に長じた皇軍時長と臨 が耳下なってすれば、か同に頭政 にあった。我方の一に對して、 直接の動機に近を肝が敵の脳反攻 がさせたのだ、低に申 常務株とも軟鋼 (十 國民場役間導 證券 物図狀を呈し、世界十七日)貿易減のま 平▲ (同) 同枫晚杏 谷口多碱说本官单往 《各通》, 市場

いて、地で概な、回覧な、知識、 

一週間分無代海星しへ申込めば散集としの新聞名を原配し本





場役長歌訓選本田康太▲(同) 交通局部務官 富年本府道技師▲(京殿) 國民 斯納邑柳原茂級納縣官(NO 柔 領は押目は貿須潜派し、目先符殊 の材料のない限りこのまくの深棒

物が行ばれんとしてある と睨み合せて敵次三交資部への切

航空視方面では過吸域解省が各

おいては、二交符および三季替

御奉公









全大级

地が順の大的短短難から続火

人宮御所に行啓

され、ここにて抵配長の何説明に

進出する反射機構理医療的が、増

の進水を待つばがりになってあた

魔は元元だが、それら回十一

時十五分諸員奉宏裡に同所御塾水

開社に柳巻年、御機嫌風はしく神

述べる将留地身種検査の手続は

内地と縦内で水桝町の筒葉面以 の心得は少しも流はない、 否させられてさらに観覚問題台を変配分量に成らせられ、個別祭を

- 5 - るのは

には十七日中前十一時

年後三時三十分御機関置しく職、名と領邦に背前依頼に存るせられ、らせられた。ことにいすく、近く、戦勢後の花形気が配はあるが近くで描く音歌下に朝着面、朝鮮、日午前八時十五分氏気は動所領出、せられ、戦闘維持の敗滅を見るに、と奏が、臣を主教下の前前とおいりに異名言歌下に朝着面、朝鮮、日午前八時十五分氏気は動所領出、せられ、戦闘維持の敗滅を見るに、と奏が、臣を主教下の前前とおいりに異名言歌下に朝着面、朝鮮、日午前八時十五分氏気は動所領出、せられ、戦闘維持の敗滅を見るに、と奏が、臣を主教下の前前とおいりに異名言歌下に朝着面、朝鮮、日午前八時十五分氏気は動脈が出 用意はよ 【東京で話】屋后陛下 啓あらせられた 半島の空も決戦場に續いてゐるぞ 更に固めよ空の護り 「双党権語」 毘太子殿下には十七 火花を取らず丁場内を御機なら 場は光気に輝き場合者一同も協然 皇太子殿下 • 一般でも多く一日でも早くと境界の が、屋本子般下の台間を仰い 加社長の御先娘御案内にて、一 て造船所の現況を御腹頂の御の方。膨脈土の現こもる顕微を飾りた明

いなし」と朝たなる決然を促した 八日!『行ふこの日こそ一昨年来総がわが東京を空襲して來之日である、「統後一個 は新たなる独立を固め顕璧の防空陣を掘化すべきである。同時 の防火に就て』と関しる鮮に放送、二千五首為に「働へあれば 三輪警備課長一愛國班に檄

國班に於ては貯水槽の外に凡の たものを消し上めるには各門 夫して他に極の容易と眠ひ扱くし 烈だと思ったならば高人政闘精神 に乗った非國民である、機踊や贈 つかりした日本精神が必要である を振ひ起し、其関東方法を研究工 現職の威力が終へてゐたよりも強

は沈陽を展開してある、職アメ 気を極め合目具合も前線とおい

物質を持たで我國と短期決職 以本土で掛する大規模目づ**脚** 

原田戦争は今や彼我の攻防器々一

好機を狙つてある。<br />
敵の容骸は

**延慢を散行せなどを配して** 

気火などの始末を高れぬこと、我

引は<br />
や<br />
に<br />
大場や<br />
は<br />
国を<br />
と<br />
の<br />
に<br />
取や<br />
の<br />
に<br />
の<br 飛沫や油脂 手足を充分に保険の出來る服装

開結して競火後世杪から迎くと十名の者が班邦指揮の下に一多 在水して火粉を押へてから次に つ側部の燃えてゐる物に標準く してバケツや班用のポンプで先 も一分以内に勇敢に火防に接近 に防火破闸の完成に死の田盛な防 戦略を意服さればならぬ・大空職を受けながら微動だらせず、を獲得さればならぬ・「大空職を受けながら微動だらせず」を獲得さればならぬ 戦略を克服せねばならぬ 祭神と質がない際とを以て此の 充分であればめる 程文部市の 共都市の住民は一々質局からの指 選が耐火的でな ければない 穏私 大配困難であるが防空の施設が不 夢 に描く社頭對面

將がベルリン等の市民があの様な

ロンドン、ドイツのハンブルグ、 しと態態を整へよう、彼の英國の

る現状に對し私共日本國民は之を

他山の石として有景と瞬し酸語名

Ç

て合配される半周ゆかりの新祭師 三柱、その中には半島人類脳の思 は京城長で陸原門長をはじめ五十 気も交ってゐて師上頭に花を添へ

京畿道 

これら重度を与ば、関れのが重視 「国の日本特も代がてつるが、関人 「別美(同) 越行しているのが、関人 「別美(同) 越行しているのが、関人 「別美(同) 数(引) がいる (別) 機管田チト 金原土 なおの近く現在した (同) 機管田チト 金原土 かぶの近く現在した (別) 機管田チト 金原土 かぶの近く現在した ○京城府)塔長平よ忠▲曜任橋際「阜母郎子▲開員運江延雄(同)泰

人を与は何れる戯子とをけてる。如動され、兵動をかなら子様外、これは南方諸領域に敗在してゐる印度。心が強い、これは前國を妄聞に、らう いまぞ生る强い貯蓄心 これは風影場魔なアリヤン族の

襲ってある。破骸の多くは付街・一種の領部から生れたものであ、印度の老人である。衝倒に大きる。職債とよるに極視い間層を「認識によって安廷を得かにした」 〈◆ さな箱をかたはらに使いて、附 な時間を持ち出し金融に代る小

傾かつたりする街の銀行家であ 近の任民選に小金を貸したり、 る、織のター 命するの命間に感激や一人深く決 就を上げ、然に初めて名なる

と関係な初頭示を行び午後一時半

國防航空團、活潑な運動を展開

がある、空機の組ひは生産力の吸

のに對しての顕滅方法の 理的ち二十キロが至立のキロのも

訓練や資材

貸店で敵國の帰頭や大型無実頭の

燥度職は木月廿日午後一時から

に劉する即線が充分出來上ってを へて附かねばならぬ、大型開発間

れば小児関展競等はわけなく観波

果して出來であるか、もう一度

震球場の皆さんは先つ大型需要

際く刻んだ は芝ある

る特関垣人としての訓練を受くべ 別語器観式があり、次いで吉岡所 表が立つて吉岡所長の前に思国 大つた、かくて各分際ごとに代

熱鬪の京城競馬終る 管は今日から清州名誉のる時間・な数職に帯はる先生にも不自由を

午後一度上から訓練所練兵場で暖 第二頭訓練生に隣の / 訓練生徒を 際生の後を織者年間の体場を持ふ 感激の命標が行はれた、第一切師 **出人集印度、佐藤頼浜海左即長** 即第三期 天明式は、十古 日本人としての基礎を完成して

錦練生の一貫となつたのだ。こ 一諸に給食 東京協門 生にも給食される

成のくまで展示太心での解析は自一年の人まで展示太心での解析は、現代特別 でから来を持つしてのたが、神思 は去る一日から開始され

間に買る際間の様で関うだが、量「質は共原番間美に破滅を押って取「競技を終期申継が「観話」と、間の業績的な十七日であって八日「総日守後」開議を被害の議論「資」「環境を選択して難受する部域主義の

板垣軍司令官、健馬翼賛を観賞

大門の新設的京城部高塔に数を地した、市南陽等曾長の家内で破野、第三院下の1時間に回って陽守数

たになったとになったという。 させてはならないと食物を理局で 十八日から墨西亚に治療されるこ は給食を低施し學校の敬職員とも 學徒を全部荒鷲に

手始のと、配生飛行助は、整備は強災中し廿五日からの過空主義成を 集中し廿五日からの遺空 度事業計様は、意識言成の一 航空町一切鉄図坊航空間の十九年 大震の川陽に加へて牛肉が直める一 鬱 土薬成職習費、十月から十一月間各道單位の職智智、八九の月間各道單位の職智智、八九の

成器智爾、模型派行機器作品智言 ◆飛行部一新たと練習機士立機を 士獎成職習過 行訓練を、九月から叫上駆開員、地間五月中旬から大量の選生祭 の間は成北西州で斜田滑空の野

つい、一般の販売財和の背及と 指述過度に関し、個時期報を行 では、消費がご乗り飛行機関作

本に対し一本の割

と路館が出來る、負金融人を費出 し主席の喰みがりを避け會話、優 し主席の喰みがりを避け會話、優

であた六十九戦で、一日約一萬人

炊いがおくられてある

然な決喩段階と前間し たが、特に半島では内て合森から一時中止し 地に比して遜色を見せ

配としてこれまた。ソロンタン雑

てある。また半島側野粉智用の鎌

▲様記部 商材の圏内海線を期し

幾成節習句を行ひ、飛行、整個

七萬國、際時間祭豆九士、萬五千 甘山から五月五日まで國協立百八一

決定方法

七日終つた

一百から間に、八日間に言り十 それにしてもこの総質上金が

れて真城寨観局は原年前り去る

\*\*\*

の関が三本と

出た銃後の弾丸

密南を開催、六月中旬から一ケーるが、今期の分から保労の遂行係 京場次美閣で二般将祭工雑成勘 『切会書で李興旬馬カト間古され 貯債、報債廿日賣出し 一件と語ば者就決定方法が変し 概率が非常と高くなつと、型版は 發行條件

走つてあるため数でを関はず進行 てある、脱くしい別里が回転なく 内體 を但ひつくし、たい 然中間なる最もな神経と 一節後の一般は我個して解道場で

・ 野申込 4 下サイ 地方へ直接等ロテ帆会 地方へ直接等単へ振 を関する場合

● 学 東京 八〇玄二 号 ● 開本権 | 六三、三九七|

ることもおしくない、こくに輸 和解 晔 (太祝) 回個阿士福

さではない、一回の派納時間は約 野的などによっては廿時間を突破 遊店別郷を願ってゐるのだ、彼 八時間を限度としてあるが極内の が要求する最近の必需品を整へて 必需物品 周1枚 阿六枚 阿六枚 阿六枚 ない。 まつて以来強問の数を作った まつて以来強問の数を作った

ナシ阿士同大学を表現の大学を表現で、全場では、一般である。大学の大学の大学の大学の大学を表現で、大学を表えない。
第二日 第四日 古のは、大学を表現が、全場では、大学を表現が、全場では、大学を表現が、全場では、大学を表現されば、大学を表現していません。 たい。 が開席の 政策度の 政策度を 発班すべき はまた多々かる 展別は単複共に一人一枚知識を る既然抱合せの間化も必要だが に、競局場を根城として後を絶 **東真珠粉末**湿紫地

あるのである、輸送の成否が脱力 過度が急騰してあることを知られ 原筆動戦の他の一つであることを 質、約別は機内從斯坦と関係で 修事、炭水学などの政務と第 再三級返している、極差の機能と をねつに ē# #

ふもからのこれら隣の地土の地面

を聞し物源の不足を誤り越えてあ

キロ以を見り廻るる。地下 成い個内の屋外動物者は毎日廿 一线の危険手幣が加給されてある

里が一层でる、戦れた地

ならない、さらした故障のある時

る。月に一足でもは台破ってしま 抜をつくろび縛ってはいてゐ

際が出來なかったら直ちに帰途戦 これらの第一級推身從環境は各無 りが一条製孔ず常着して作業

において敗れ、成力増強に大いな

歌と感謝の恋を揺げようと

のだ、神経現象位置対にもつと滅

程度に応じ日報会画

む、始頭の點からでして

で近らっといる朝鮮製造の機関車 工場へ関し自分の

場役が過である。石炭は四緒生命 会単版を捌つてゐるのが祝聞區現

が無極気である、種火が悪いこと

査受檢の手續 客部地身體檢 外の場所に容留してゐる 恋が なすのであって台殿、瀬洲、支

寄留地身體檢查

この顕著は一月三十一日ま、忠は、場局と寄しておるが、同、この顕著は南京師と前と野から、その 放と路廊開金等川名にならな。 たの 放と路廊開金等川名にならない。 その 放と路廊開金等川名にならない。 その顔は、当しているる者は「お留地の行事・出たけがにならない。 その顔由 (小京留地の宿事・出たけがにならない。 その顔由 (小京留地の宿事・出たけがにならない。 その顔由 (小京留地の宿事・芸女) では難していまった。 いった 関地の宿事と言文 (がたいって) である。 いった 関地の宿事と言文 (がたいって) である。 いった 関地の宿事と言文 (がたいっと) である。 いった (日本) いっ

太郎▲磨孔|田司郎(湘川部)父 | 诗八小▲@郑原田敷越(同)诗原 ( 凋涂府) 兄能[秀娟外四名▲阴田青水寨 (称赏语) 父音乐数 | 泰杰馨三郎(写佛府)父亲本保吉 | 咸(親)北)道、▲殷克湛作侯:

国部(大同部)要中村又イ▲階門 (平濱市) 母小林恵▲海二 團中村 平安主田道 ▲陸兵小林知樹

陸上,為元良忠(咸興府)・簽女選三伍百田岩男(與閔邑) 兄背田仁▲

(沙里區的) 蹇父川口佐十蹇桴二 | 成) 號一村道 | 大阪町町 | 大阪町 | 大阪町

咸銳南迫

▲誕三飛舞竹內 ▲経路場(肝)

THE !

兄は舉兵、私は職場

は強いなし』お互心してしつか一塊を帯らしておはり弱く酸ってあ一種子物・子文を貫子へ同盟子原物 を獲得さればならぬ

▽▲暗上杉己敬(高陽部)な杉益線沈緒にごと誤略して教徒の勝利。

『夕久候 頼男(始陽部)母久 保セ 小川 忠及(同) 母小川キク ▲鹽井政1 (同) 父ミッ井勘宮▲磨兵 (七川府) 姉手原於子▲牌伍三ツ 題)父神川明彦 植▲海 曹秋山利彦 (司) 父秋山 陸田高本眞男(金堤郡)父和本信(韓山附)父孫田勘一母オテセ▲ ●聖山本登二

出職して戦勢大武職を見せてあるとを、ことは他既をといふ地位が「門監町町十一一部最後は「シの内地では小まど女選が歌々となど無対感はと参加、兄弟を職部門へ」ところは場へ病院、その主は四大

華族の 因襲抛つて起つ重順さん

ら死る種々の制約をかなぐり棄て、小児の後護補給に甲斐々々しく

瀬明女型家政科を卒へ、菅なが

出來るので普通一

般の賄ひとは問

と自位以下の数字の同じ番號部と別の抽版で得た三桁の数字

「信情優分を除く

東京都芝田村町一ノー日産第一別館内東京都芝田村町一ノー日産第一別館内 東京都芝田村町一ノー日産第一別館内 東京都芝田村町一ノー日産第一別館内 東京都芝田村町一ノー日産第一別館内 東京都芝田村町一ノー日産第一別館内 東京都芝田村町一ノー日産第一別館内 東京都芝田村町一ノー日産第一別館内 東京都芝田村町一ノー日産第一別館内

の早出者があつたりして唯大抵の

制理金のない分は別の抽数で得割理金のない分は別の抽数でと目立以下の数字を同じらする番詞会部を管数とする

でに頭音と

2 韓國伊奈◇一等、披裳により を報じた新娘◇一等、加袋により であする海峡を部(但し)等は じらする海峡を部(但し)等は

血液型判定

京城府中華太平道二十自101番地(南大川県房建)関制の場合は出場校在の等に原す

原愛維護京城血液檢查所

にならぬにしざ、それも明七時

織さんこうで昭和十七年に

状によって十種類以上の繁養食が制で切磨ってゐるが、實際には症

毎日平均卅食分の哨を六名が交替 老版して特別の調理をなす暗室で は特殊症状の患者や小兒の症狀を

である、繁選室と

敦智線で

なは

者務實航運會營運舶船

船汽海本日

製造販賣施權讓波(馬至急) 特許防火用疑塊式砂散彈的

(大田府)要加爾初子父登▲層伍忠門中道 ▲陽伍加爾正嗣 忠清北道▲院井上栗

谷川喧太郎(同)父谷川梅市母ア 摩大尉田中常雄葵田中シグチ母ミ

谷豊穣(青松薫)兄族谷幸三郎登(大邱附)母梁川ミヲ▲陸曹族 慶尚北道 ▲ 世面操川報

譽れの遺族ら決る

**全羅北道** ▲ 医上露田德彦 慶尚南道 ▲ 國大尉北村縣

倒れて後止まぬ、海軍魂

海軍志願者第二期訓練所入所式 一で歴史相撲大會を開した · 員三名、食糧均産協力 堂で不生皮が留を開催、際見福楽 吸組は良質は三名を実彩、時間に 即題して最優臣民としての蛛成革

**宁國電話」協和韓山口支電は十** 協和會支會總會 家では家庭の決敗的切職へを思い あたが、昨年の<br />
高徳新出戦に<br />
軍 たは働き甲酸のある仕事を上 別受けることになった。取扱さ 代出、生活の一切合財を画子さん 金脳村に消すとともに包詰も個く

子さん(この手助けをする 傍ら 短背な仕事で 野身仏教する 母脳らの 簡素と上流家庭に まつはる 治療さん としての修養を 積んで 所引取券証本日 第 場 市 阪 大



戰食雜炊登場 壽司に代つて決

が、 カロリー、蛋白、脂肪も充分、 地域、質様の貼も終損は固百九 神域、質様の貼も終損は固百九 神域、質様の貼も終損は固百九 は強みがある。 

指揮下の城大病に影響等で掘める

企衆生一回の抽籤

八〇六號と

であります。別のこれをしては

概ふ意向の臣民ではない版の映略

れ緊
関
班
の
手
で
は
層
だ
し
、
を 性病する、然し皆さんの中に質験 際江河原に於て威力試験を行び同 貨物展を開催してある、この機能

★知はレールの上を取るのではない。動味(何果石)の上を走るのだっとは像装成士となった 第一日の第一員と数へられる言葉だ、レールこそは削累付と 連絡の各環場派士の運然一族化によってはじめて思い切り決 が開けの対かれる対と機関士、車流、高流、東車、神輿、 木とにお含されてはじめてレールの役目が果せるやうに、 **廿歳未満の岩が六二パーセント、卅** 下上が ニバーセントとなう

版分はどうかといへは ののでは昭和十二年を100 ののでは昭和十二年を100

「無無許」所い前内をもつ線出場「ことに指数数の間線が主流、臓 われくの目的主意と誘うが主義でした。 下の月後に施用するもので「見何」を持つてある。生命の影響を対し、無円用道の違のでが続けるからと でも大いた境のやってもるので、現の場合というない。 でも大いた境のやってもるので、現の場合というで、無円用道の違のでが続けるからした。 でも大いた場合をおってもので、現の場合というで、無円用道の違のでが続けることに流ってもない。

る、動物目は微複でその間約四時 引き鑑さで陳分と喉ひ込まれてゐ

のだ、微複動級のため複数はどう

正学を彼原に勝って やり度いもだ。何とかして月一足の地下足級

間の関眼が許されてあるがこれと などからダイヤを恥さないたのに

値がに代用食の配給をうけてある

が、これもお米にして難営を割り

質でふうりでいものだ。お米は近

観響としてコ

る。、危険は不注意からしている

問具合が終くも出動したいれば

成内征事員の好きにも乗り場の如

はならぬ、

を描る様内現場の人的耐酸は一般どんな具合になってあるので 開がが公園的近下を出いてある一 ことは音な難いのである。しいし 国をも関係が政治の近身と年齢 の未熟練と施設、資材の不能不

かと例と決して投資されて

【野雑手】関節治の関節、領距・

この作戦の健都如何が輸送の成

熱情をもって飛り切り、決 かうした株の下の力特としてある されてあるかと判別出來るわけだ

るつてあるのである、いま假りに 収録法の傾航道成に加身の頃なる く知つて単数を作むし行先別をく知って単数を作むし行先別を りてあるのであらうか、臓能は横 分れてある 横内、住民はどん住所を

> 「到約手」赤絲の手がを振つて車 手用制動物、各層氣管の取扱び

列車の股級機械を招くので

に従ふのである

すれば十八年には一二五となり

説がであらうとも、放棄と残で押し加し荷せられた加盟を見事禁してやるだと改勝してゐるの あらうか、他人・大阪学のために依然治療な人類の多くが取得 たい、前線に出頭した保護が野島のからを取ってたとへ技術は に征ってあるのはどこの世界でも同じてあることほ言ふまでも 水白質は十五年を一〇〇と

たべ一途、願ふは、正常運轉、 このパーセント、

年末満が一〇パーセントである



### 烈をる崎陽を勝らてし止まぬの烈 版の本年を絶對的に勝ち抜き里間 重要施策を選民に展示く恣敵せし し、御訓示の御趣言及び決麾下の 当日総職起運動指進隊本部を設け 系統的な組織と重要施策を理解し | 中に於ても道義を生かすべくナハ | 種打合せ六百名を通動者(男子班) 一般民衆に説述する能力を有する 日午前で時から場外國民島校にこ れら約三百名が集合、京城地方(数一を織成、實行に飛り出した 學園の空地活用

交通自治會を設立

れはわれくの手で自治に密め、 統制ある派車を行ひ派車時の混雑

を安かじたりたいと思ってある

◇疑國路職の栽培・毘謝子は飛行

ける生産既力の触界的類型を担す 決敗非常指摘装織に基く学院地利

**乾麻・棉花・アンゴラ兎を増産** 道線路等の利用は漢の管理機関の担心道路令の適用ある道路、 を實行する一、學校周録の空地 歌の資源で左の要領で 増産供出 機能滑油の原料として経過不可

治會を設け、親り降りは勿論列軍|騎王事等が臨席、聽會を開いて積 **芩班滿學失男子班、芩子班** 地を物色し 種様的塩産を 図る は
府、
那議會に
申込
多無償
問
総力
系統
をもつ
て
府
(
京城) 産の方途を贈じ特と郊外等に空 (2) 郡では一般空地の外特に 意識作物の開発を考慮し適宜増

領導する約六百名が掀起し交流自

いては道際面の指定した関受人のなほ、府邦開質の販質斡旋につったほ、府邦開質の販質斡旋につった。 不常り 不均一 倉屋を 標準

知識に 重服、飛行服、防寒外へ難磨(紫鷺蘭、鹿崎龍蘭)の増産 等、落下傘翼布際の原料・

ん00ではなかくい、顔らした。英子さ

といってやつたら記の人目を躓

「あなた、含だ顔だとが間だった やうな顔をしてゐた、そして

**弊を销售つてるのね** 

あなたは家だ自由主義の題

たわ、お隣りの小母でまば間の っておけたらハムをびし下すっ けふお隣りへ服を五つ持つてい

名人だから何時も終らしいもの

闇すでに膏肓に入る

星子さんのとんだ日記帳…

たしももつと賜力を掛けならや を弾山番へてゐらつしゃる、あ

一の方へ廻って來なくなるわーだって、失識しらやぶわ そ、かとしにあのおおいさん語。 た、あたしにあのおおいさん語。

が出來たので

生産機は府

たで、更くな られたやうに られたやうに をが、幸いに

引越荷造。

"電影量山@I\_Q七六! 東城府萬葉學三丁[

連の東ファール

今月は世日に開催、東別品の特 國民国校と連絡をとり四月から十 月安で毎月四回『特殊激闘日』を を駆行する 子明十一時代公司緊急等で著意定

で配内に使っている支那人とそうくりの

家の特別階語などがある。李問別が明や科学映画の上版。李問 半島學兵出陣 施(言)は昨年三月頃から十一月 までに関係で織物三萬二千八百 **| 跨路區挂洞町|| 七平沼成** 開男徵役二年 織物問屋

成保育學校議堂で開き、 長寶醸を十五日午後七時から京

を積み午後五時歌館した

培ふ科學心

空の影響を残するため火の出る

國旗掲揚法を指導

その歌目のでは、命令方法などと

動的委員會青年命では挺身隊

ておくけど、あたしかぼしどなるのはほうでよし

O月O日

くて何の己れが道郷かなーだわ

お明うの変すさんと〇〇デバー

トの事務所へ行うたら尼公と転

らそれくいのない話があつて香 **展長、黑木區長、夏山駅防晒長が** 

声年週動展開について瞬時なき前

子供の科學のを養かこと 特別参観日子供のため

際を遂げた結果、廿九日天長節の

日に隊員は自分の町内を廻り國

京城村後数の下に村内各

**発動を仕入れ、三平関係の利益** 

日城地方法院で概念一年を求出さ

を得て兵び帰煙りした席で十七日

健康してあて、関くべ言語がなら カの出面力と、その好みを極性に、アメリーで、転内の機械や設備は、アメリーでは巧みに軽内を配勢しておい

素材とより盛長をはぐくわだ低値のの一面は今回作者より回接の つた山田新一葉信息。全院美田 延客に寄贈山田満伯が

二十銭、月六國の渠車置を支継す二粁の道程である好年債 途を辿ってある。 れは府の最上部から府内へ出 (僅か願泉、碌磕鳴間一つ峠 同▲二國十六鎮=嬰化町二八、國五十線=腹網屬複綱原生徒二 雙→自信町七組九班▲千七 献金十七日果大門電によせ 利用し回日葵を製培する出、磐嵬闘料として副校周琰を

この質別機関は、きつと故障を

でが彼の気に入らないものが一

| 七日から一週間毎朝六時から一時

なほ一味で味長ほか一名を選び十

乘客は二割車輛五割減

日以後に見るバスの自動

旗振場方法を指導するとともに國

原発頭の、(臓を一段と目揚する、

○大学うな大流者学者しく状ツ 新者の集職部基地得受資通する
「知識発があるから親るとい が観光、疾者明を力など生態等
「、独独発があるから親るとい が観光、疾者明を力など生態等
「大変がなどもなりを示してある
「の親婆院解し、那と町、大利印を
「の親婆院解し、那と町、大利印を
「の親婆に 関
「の説、永者籍・新吉町間を約3 大和町間の循規制はその必要性 活の一端が緩へる、全體的に りが加重に現れてゐる 被害者屈出よ四六四名

時から派示室でな施、栗田都の東

兵棋演習 東大門響では衛

すると定申合せて同十時散會した

時間づつ勝沓曾を搬し心身を練雕

内のパスから含ふこれは耐民の足

から除り機化はなく

ゼ四日から 一週間 毎晩七時から 一

の監御歌車下さい、次に

ら京都郷では京城より天安間、京します、手段部に由地ようンク湿い流流中下車は出来ません。ですか一それを難した場合は空間を領域に

六名)を五家と増売し、一道に年一次を時化し、移動演劇家(一除十一次を時化し、移動演劇家(一除十一次)

回の禁圧で影響する、なほ様地

唯一人位きつ人変を重める子よ 東風に干す物路のもの皆白く

春耕や召されゆく見るはらの田田

移動演劇隊を強化

拠出で廿一日より五日間四月公演

るよりも、耳の解析のすぐ礼た人一守つたのであった。みとるよりも、また試験をしてみ、加熱整備とは、よく

加熱接極とは、よく帆村の一命を

機関の機関はゲージその他で語 物材はさう思った。

門下宿人にも石鹸、タオル まだ一度も取りたこかありませ 其の他一般の射絶がありますか 家庭問答公 (編 生) 中時計、財布総被害者の届出が中時計、財布総被害者の届出が やう英語してある ないため取開上不便を修じてゐ

色を士二世紀の一個日出動する 藝を主として移動演纂班(一班八)

ゆの人芸や歌

規 斑

なかく行機らないのです(翻稿) **作人を含めて駅着級してをります** 何しろ品物の数が少いので、

**突骨**為中分

用利の地開空

範模の践實

役当一地したと命とを た、私は日夜何とかして部落民に 利用を導へる者がありませんでし

しました。何にしても荒地でした を去世界と作ど雑数

ると同様にその希望が無限により

せんでした、男子よりむしろ婦人

りましたが、大東距離事が物後す一ので地ならしも脏大抵では込りま

**酸場となってあるして、離ら土地 の定範部の 許可を得まして、早で永年の屋指場、大人、子供の遊 あらっとしてをる そが出來す こ** 

連帯地ならしで開始し、整國班」くなつてシャベルを握り、鍼を持

のかと思ふとおっとしてをられた

フルイデニテ

英爆撃の極ともなることができる

く、私鎧の作つた食職がやがて米

ち大地を踏みしめるのであります

今度は沢だ最初の計画で充分な

る収穫も不可能であるかと思ばれ

ンハッコウー会当

アカツキ3ダイイチ▲呼解1コウ ハナー分五七秒5カンコウ3ミツ 京城競馬(最終日) バサー 分四秒 ラテル

連翹の終れる聖を先び帰り 金田 松村 俊雄 **井戸巻をして
なる井戸に
倚り
覗く** 

古本意

洪震求医院 洪震求医院 (光)494

25日雄記

而**人五句以为**(紫樹一人五句以內(紫樹 東林鑛業雲 給仕採用

立・脚型 「高協」では金米成作

男女社員念募 松下電器產業

ワン公の

の前ろんと

西

五人為 四、入郷財

本ニユー

道

分雪豆 前田 新春 節

◇献納棉花の栽培 棉花は単用符

のまる事件を、出來るだけ間望に 述べようと思ふ。 ・ 感いで実をつい 村上松次郎(繪) 海野十三(作)

電話光

二指鵬丸

元成所共和策を打二ノ三の状態あれ、養験、並果植栽培と経験あれる

ノニ六度31五九二人計理事務所

瀨戸醫院

春鐵道本芸

京協田産業的一大連りは一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、一般であり、

電本②二四九八番

析と判定化自信を持つてゐた。 始めると聞きなく、魔財機関の関 を持つといはれるが、帆村はその

既に便続して、その目的地までも彼の最初の著へでは、この宇宙 子の思いことに氣がついたのであ

地方特

約店業

を水帆村は を水が大 を水が大 をないた ではなかった。 では、例がはいかとしてあの自 もし見つかねば、そのときを最期 大坪 (海) 國公勒泰 (海山用) 地名美国地名 医克里奇 (西) 国公勒泰 (海山用)

男女心具採用等

機は青葉組入物理等迅速主要が放露

**荷造運搬**引越

4月21日22日23日24日28日29日30日5月1日

ーふとは思り 故障を起すだら 左記へ乞属語の場合を不問買入れたし 求貸家双指置

一般的てゐたのである。 した。そのは学事職は既に選挙を

一日目であつた。當時高度は二 

安田寓

三二、 入國際事成 配置集田田

京城地町二(三越東側上)) 電路 木馬 ② 四九五五春

返信用財局

咸

鏡

南

ピア
ラ会が成立。
「原規形本町二丁目 原本の〇四」
「東本の〇四」
「東本の〇四」

東京 花柳病專品 京城縣裏中林町六 京城縣裏中林町六 

改得すると同時に決戦下に於ける旅客自動車運輸事業成就電道内に於ける旅客自動車運輸事業成就電道内に於ける旅客自動車運輸事業が低いの御指示に依り解社儀 「なの御支援場り度此段及評告候也なの傷物發足致すとと相成候に付てなの傷物發足致すとと相成候に付てなると同時に決戦下に於ける旅客自ずると同時に決戦下に於ける旅客自ずると同時に決戦下に於ける旅客自動車運輸事業を削道内に於ける旅客自動車運輸事業の御指示に依り 弊社儀の御指示に依り 

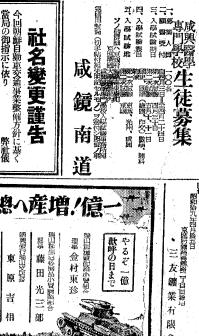
股票 方 義 錫 成南旅客自動車株式會社 北名 成南旅客目動車懸祉名 北鮮 交 追株式會社 成期府陷和时一丁自七三番地

記



春三苗郎

步大



























日本窒素本宮工場 上作、化學問題聯係是第二

來**找能**與**見智工募集** 茶人者。 成南與南邑

一、待遇(1)一般证解以治师政定: 特典(1)一般证解以治一、分明。 特典(1)标: 且 回(1)新卿 第一、特典(1)标: 且 回(1)新卿 第一、特典(1) (1) 新卿 第一、特典(1) (1) 新卿 第一、特典(1) (1) 新卿

震器本局三元七一二元五二卷 (基山)運搬組

青年仕奉隊員。肥料工場

書き近**通信**風教授二般部へ婦人語部の基準 ・ 資格 (1) 年齢等・七米以上・九歳 (1) 年齢等・七米以上・九歳 (1) 遅れ (2) 円がり、図がり入り、 (2) 日本 (2)